

2023年2月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 閣僚評議会の開催
- (2) 人民権力全国議会議員の候補者470名の選出
- (3) キューバ中央銀行総裁の交代

2 外交

- (1) シルベイラ法務大臣の英国訪問
- (2) アブドラヒアン・イラン外相のキューバ訪問
- (3) ローマ教皇特使ステラ枢機卿のキューバ訪問
- (4) マルケス・コロンビア副大統領のキューバ訪問
- (5) サイヒ・アルジェリア保健・人口・医療改革大臣のキューバ訪問
- (6) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のコロンビア、パナマ訪問
- (7) ロドリゲス外務大臣の国連人権理事会ハイレベルセグメント出席

3 経済

- (1) トルコからの新たなバージ船による水上発電所の設置
- (2) ロシアから緊急支援の小麦が到着
- (3) 今期の砂糖生産量が予想を下回る見込み
- (4) 中東部県における大規模停電の発生
- (5) 法人に対する新車・中古車の輸入を許可
- (6) オルギン県での森林火災発生

【本文】

1 内政

(1) 閣僚評議会の開催

2日、閣僚評議会が開催され、地方の農村地域の既存のインフラ設備を活用するための措置を講じる必要性につき合意した。本措置は、地方自治体の開発戦略の一環として、農村地域の住民の新たな雇用を促進し、必要な資源を提供し、訓練の機会を提供することが定められている。さらに最優先事項として、地域社会の食料需要を支えるために、地方での農業生産拡大及び自給自足プログラムの開発が検討された。

(2) 人民権力全国議会議員の候補者470名の選出

5日、「全国議会議員候補者選定委員会」が事前に認定した候補者リストに基づいて、全

国各地の168の市議会が、合計470名の議員候補者を選出。470名の候補者のうち、221名は市議会議員の中から選出されているが、135名は「全国議会議員候補者選定委員会」が県政レベルから選定した候補者、114名は同委員会が国政レベルから選定した候補者である。それぞれの候補者は6日から3月24日にかけて、自身の選挙区の住民との対話を実施。

(3) キューバ中央銀行総裁の交代

16日付国営メディアは、キューバ中央銀行総裁として、新たに国営両替所（カデカ）のホアキン・アロンソ・バスケス総裁（59歳）を就任させることを発表。2019年からキューバ中央銀行総裁を務めたマルタ・ウィルソン氏は、「その努力が認められ、他の活動を任されることとなった」と報じた。

2 外交

(1) シルベイラ法務大臣の英国訪問（1日～2日）

英国高等裁判所において審理中のキューバ国立銀行等に対する債権回収請求に対応するための訪問。同大臣は自身のツイッターで、「自国の真実を守る」ために到着したと述べ、「キューバ国立銀行とキューバ政府は、GRF I Limited がその債権者ではなく、これまでも債権者ではなかったことを断言する」と投稿した。

(2) アブドラヒアン・イラン外相のキューバ訪問（4日～5日）

4日、ディアスカネル大統領は同外相と会談し、両国が「世界で最も制裁を受けている国」であるとした上で、40年以上にわたるキューバとイランの友好と尊敬の関係を強調した。アブドラヒアン外相は、ハメネイ師及びエブラヒム大統領からのラウル・カストロ革命司令官に対する敬意を伝達した。また、ロドリゲス外相との会談では、二国間関係の現状、主な二国間協プロジェクト及び国際情勢につき意見交換した。ロドリゲス外相は、米国による対キューバ経済・商業・金融封鎖の解除に対するイランの歴史的な支援に謝意を表明した。5日には、カブリサス副首相と会談し、2022年に同副首相がイランを訪問し、第18回イラン・キューバ政府間委員会に出席した際に合意した医薬品、農業、食品産業、ワクチン製造等の交流に関する協定の進捗状況を確認した。

(3) ローマ教皇特使ステラ枢機卿のキューバ訪問（1月23日～2月8日¹）

キューバ訪問中のステラ枢機卿は8日、ディアスカネル大統領と会談。会談でディアスカネル大統領は、「双方の利益のために」、「両者の期待に応える」道を作り続けること、そして「今回の訪問はその関係に特別な時をもたらすだろう」と強調し、「我々は、キューバと

¹【訂正】当館作成の「2023年1月 キューバ情勢」にて、ローマ教皇特使ステラ枢機卿のキューバ訪問日時を1月23日～28日と記載したが、1月23日～2月8日に訂正する。

バチカン及びキューバのカトリック教会との関係を前進し続ける大いなる意思」を有している旨述べた。会談には、ハバナ大司教のファン・デ・ラ・カリダ・ガルシア・ロドリゲス枢機卿等、キューバ側からは、ロドリゲス外務大臣、ポランコ共産党イデオロギー担当局長、ビジャ外務省二国間問題総局長等が同席した。

(4) マルケス・コロンビア副大統領のキューバ訪問（9日～10日）

コロンビアを招待国として開催された第31回ハバナ国際図書展（9日～19日）開会式に出席のため訪問。滞在中、ディアスカネル大統領と会談し、二国間関係を再開するためのあらゆる努力を行う意志を確認するとともに、コロンビア和平交渉にかかるキューバの尽力に謝意を表明した。それに対してディアスカネル大統領は、二国間は文化的な問題、男女平等、アフリカ系住民に関する問題など、多くの基準を共有しているとした上で、米国による対キューバ制裁の解除やテロ支援国家リストからの削除に対するコロンビアの協力に感謝した。

(5) サイヒ・アルジェリア保健・人口・医療改革大臣のキューバ訪問（13日～15日）

13日、ディアスカネル大統領と会談し、昨年11月の同大統領のアルジェリア訪問中の合意事項について達成する準備が出来ている旨表明した。14日にはキューバ・アルジェリアビジネスフォーラムが開催され、ディアスカネル大統領、マレー口首相、カブリサス副首相、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣が参加した他、60名以上のアルジェリア企業関係者が参加した。15日にはマレー口首相と会談した他、第23回経済・商業・科学・技術・文化協力政府間委員会が開催され、エネルギー、医療、医薬品、スポーツ、ラジオ・テレビの分野における7つの覚書及び協定等が締結された。

(6) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のコロンビア、パナマ訪問（20日～25日）

コロンビア滞在中（20日～22日）、マルミエルカ同大臣は、ウマーニャ・コロンビア貿易産業観光大臣と会談した他、貿易、銀行関係者及び企業関係者との会合に出席した。また、コロンビアで開催された観光展「Vitrina Anato 2023」の開幕式に出席した。キューバとコロンビアは2001年7月より経済補完協定を締結している。

パナマでは（23日～25日）、アルファロ貿易産業大臣と会談し、特にバイオ医薬品分野での協力を強化することが確認された他、企業関係者との会合に出席した。

(7) ロドリゲス外務大臣の国連人権理事会ハイレベルセグメント出席

28日、第52回人権理事会ハイレベルセグメント（於：ジュネーブ）に出席したロドリゲス外務大臣はステートメントを実施し、本年10月に実施される人権理事会理事国選挙にキューバが再選を目指して立候補する旨表明した他、同理事会が、強大な政府の地政学的利益に従属しない国々を孤立させるメカニズムに変えようとしているとして非難した。ま

た、米国による対キューバ経済制裁及び米商務省作成のテロ支援国家リストへのキューバの記載を改めて糾弾した。

3 経済

(1) トルコからの新たなバージ船による水上発電所の設置

2日、キューバ電力公社は、トルコのカラデニス・ホールディング社との契約により、240メガワットを供給できる新たなバージ船がハバナ湾に到着したことを発表した。トルコからのバージ船による発電所は8基目。

(2) ロシアから緊急支援の小麦が到着

15日、キューバの小麦不足に対応するため、ロシアが2万5千トンの小麦を供与し、ハバナ港で式典が開催された。グスコフ在キューバ・ロシア大使は、ロシアが、機械、輸送、エネルギー等の分野でキューバの発展に協力する旨述べた。

(3) 今期の砂糖生産量が予想を下回る見込み

19日付グランマ紙は、キューバ砂糖公社による今期の砂糖生産量見込みを報じ、国内消費に必要な40万トンの生産を計画しているものの、現状では9万5千トン不足しているとして砂糖収穫の時期を延長するとした。キューバ砂糖公社は生産量が予想を下回っている要因として、製糖工場の故障、燃料不足、輸送手段及びサトウキビ収穫機材の部品、タイヤ、バッテリー等の不足を挙げるとともに、労働者の高齢化、移民による労働力不足も課題であるとした。また、生産計画達成の障害として、製糖工場からの砂糖の盗難増加を指摘した。

(4) 中東部県における大規模停電の発生

21日、キューバ国営テレビは、シエンフエゴス県からグアンタナモ県まで約700キロに及ぶ地域で13日からの1週間で3回の大規模な停電が発生したと発表し、国営電力公社によると13日の停電は人為的な操作ミスであったが、その後は原因を調査中であるとした。さらに、電力公社は、22日にも高圧線の障害により、東部県に電力を供給する配電が切断されたと発表した。

(5) 国内法人に対する新車・中古車の輸入を許可

22日、ロドリゲス運輸大臣は国営メディアでの討論番組を通じて、キューバ国内の全ての法人（国営企業、外国企業、協同組合、中小企業等）に対し、外貨での新車・中古車の輸入を許可するとした（政令第83/2023号）。ただし、輸入した自動車为国営の自動車小売業者以外が販売することは依然として不可。また、個人が2台以上の自動車を購入する場合は特別税を課することとした。同大臣によると、本措置は、経済活動を強化し、自動車

入手にかかる障害をなくし外国投資を促進するための措置であり、特別税の適用による収入は、公共交通網の発展のために使用されるとした。

(6) オルギン県での森林火災発生

オルギン県で発生した森林火災の対応のため、24日、チャップマン副首相が、25日にはエスピノサ革命軍事省第一次官が現場を視察した。2月中旬から発生した森林火災は、内務省傘下の森林警備隊の報告によると、干ばつ、風速、出火場所の分散、地形の不規則性が原因であると特定された。2月末までに約3,600ヘクタールの森林に被害が生じ、100名以上の地域住民が避難したが、死傷者はなし。森林火災はサンティアゴ・デ・クーバ県境まで広がり、同県から約2千人が消火活動に動員された。